

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	2-1-8	取組項目名	組織再編後の税務部の組織強化・事務の効率化			
所管	財政	局	税務	部	税制	課
〔P〕 取組内容	実施内容	平成29年度に実施した市税事務所の統合・再編後の組織において、人材育成、組織の強化を図ることにより、事務の効率化を更に進め、より一層の適正公平な税務行政の推進に努める。				
	目標	H30	より一層の適正公平な税務行政を推進する。			
		R1	継続実施			
		R2	継続実施			
〔D〕 実績・進捗状況	H30	市税事務所を統合し、職員を集約したことにより、OJTを中心とした職場研修を実施でき、職員の人材育成が図られた。 また、事務の効率化を進めるため、市税事務所において、「税務業務の検証・見直しプロジェクトチーム」を立上げ、現行業務フローの可視化及び業務内容の検証作業を実施した。				
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R1	平成30年度に市税事務所において実施した現行業務フローの可視化及び業務内容の検証作業を受け、さらなる事務の効率化を進めるため、「税務業務再構築支援業務」の外部委託を実施した。 また、税業務(税制、各税目、収納・徴収業務)のマニュアルを見直し、職員の人材育成等に活用した。				
		R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30~R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R2	これまで実施した現行業務フローの可視化及び業務内容の検証作業を受け、各業務で事務改善に取り組み、業務の効率化を図った。 また、令和元年度に税業務(税制、各税目、収納・徴収業務)のマニュアルを見直し、業務に関係なく税務部職員が閲覧できるよう庁内ホームページに掲載したことで、職員の人材育成等に活用できた。				
		R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30~R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		見込み	- 百万円	- 百万円	- 百万円	- 百万円
実績		- 百万円	- 百万円	- 百万円	- 百万円	
評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良				
〔C〕 課題分析	組織再編から3年が経過し、これまで業務ごとに様々な事務改善に取り組んできたが、さらなる省力化・効率化を進めるためには、業務(組織)横断的な業務改革の取り組みが必要である。 また、令和5~7年度の税標準システムへの移行に向けて、全庁的な体制整備や綿密な移行計画の策定等が不可欠である。					
	改善策	業務改革や税標準システムへの移行を円滑に行うため、組織横断的な体制を確立し、課題抽出・検討・調整等を計画的に進める。				
備考						